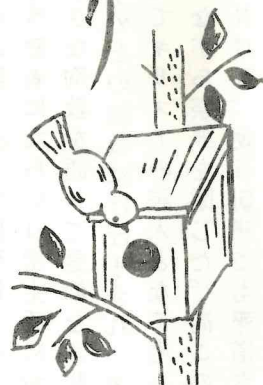


# 仙台司教区 教区事務所だより



(第 20 号)  
昭和54年5月1日

## 仙台教区

信徒総数一、二六〇名

全人口の約〇・〇二%

— 53年度教会現勢調査より —

昭和53年12月31日現在の仙台教区の統計が教区事務所から発表された。これによると、仙台教区の信徒総数は一、二六〇名で、全人口の約〇・〇二%、五百人に一人がカトリック者という貴重な存在にまず気づかせられる。しかし、前年度と比較すると、一四七名と、わずかであるが信徒数は増加している。

次に小羊と牧者との関係を見よう。邦人司祭37名、外人司祭5名、司教2名で、8名の牧者が四県を司牧している。一人の司牧者に対し、信徒

数約一三七名で比率からいえば多くないが、幼稚園経営等の教会が多いところからプラスアルファの司牧的要素が多い。外人宣教師の司祭が邦人司祭の2倍近くで、まだまだ宣教師に司牧を依頼している所が多く、現在神学生は、わずか2名である。また、修道女も前年に比較して2名も仙台教区から他に移るなど、司祭修道者への召命の呼びかけが急務であることが感じられる。

仙台教区の主な宣教の場は、現在のところ、教育事業といえよう。特に幼稚園は他の教区と比べても多く、あり、また保育園もを数える。このカトリック系幼稚園、保育園に通う幼児は一〇三五三名にも及び、幼児とその父兄に及ぼす影響は大である。しかし教育事業全般を見て気

がつくことは、学生、生徒、児童数が、いずれも前年度と比べて減少していることである。これは、何を意味しているのだろうか。

反面、教会学校児童、子どもの要理研究の人数がいくらか増加していることは喜ばしい限りである。特に教会学校においては、信徒でない子ども達が一、一六六名もいるということとは新しい宣教の場を指し示しているかのようである。子どもの教育の困難さが問われている現在、カトリック系学校、及び教会学校の内容の充実が期待されているのではないだろうか。

また、目につくのは居所不明の信徒が一〇八二名もいることで、移動する際の手続きの不備、蒸発等の信徒への教会共同体の配慮の不足が問われるのではないだろうか。

東北での福音宣教を考える時、この統計を見る限りにおいても多くの問題点を見つけることができる。福音の種が東北の地に蒔かれて約四百年になる現在、信者一人一人が自分の信仰を見なおし、なお一層、宣教の心を熱くしたいものである。

十和田幼稚園

五十周年を祝う！

去る3月6日(火)、十和田カトリック幼稚園では洞内十和田市長をはじめ来賓多数を迎えて、盛大に創立50周年の記念式典及び祝賀会を行った。十和田カトリック幼稚園(M・ポリケン師)は昭和3年11月パリ外国宣教会のアンチエン師によって聖テレジア幼稚園として開設されて以来ドミニコ会、ケベック外国宣教会への移管を経て昭和48年カトリック仙台司教区が設置者となり現在に至る。この間約三千五百名の卒園児を送り出し、地域社会の発展のため大きな貢献をしてきた。50周年を記念して今度園歌と園旗が制定され、長い伝統の重みと底力を感じさせ、参列者一同に大きな感銘を与えた。

三修道女

白河小教区に着任

新学期の始まる4月1日から、スペイン系イエズス孝女会の3人(修

道女が白河小教区(ブランカス師)で働くことになった。

カルメン・ゴンザレス姉

フェンシストラ・ペルラド姉

宮下昌子姉がその3人である。

イエズス孝女会を加えて、これで仙台司教区で働く修道女会の数は13となった。

広瀬川畔殉教祭



2月25日、恒例の「仙台広瀬川殉教祭」が広瀬川畔の殉教碑の前で行われた。第一部は、元寺小路教会広場で開会の祈りで始まり、その後、横断幕を子供達が持ち、ロザリオの祈りをしながら参加者一七〇名が続き、広瀬通り、西公園、殉教碑へのコースで約一時間寒風の中を行進した。殉教碑の前では、聖歌、聖書と殉教録の朗読、そして鷹嘴神父の「私達も殉教者にならない日常生活における小さな殉教を通して信仰を表明しよう」との説教にはげまされ、東北の地でキリストの証人となる恵みを願いながら祭典を閉じた。尚この祭典はNHK、朝日新聞でも報道された。

司教様の日程

(4月19日現在)

3月4日	カテキスタ会役員会
5日	宗教法人責任役員会
6日	桜の聖母短大卒業式
7日	雪の聖母修院長選挙
8日	社会福祉法人理事会
11日	司教評議会・12日 司教評議会
13日	教区司祭団役員会
14~15日	四国老人ホーム施設視察
18日	仙台YBUに関する会議
21日	福島桑折教会祝別
4月5日	司祭神学生修道者司教委員会
12日	聖香油ミサ・13日 聖金曜日式
14日	聖土曜日徹夜ミサ
15日	御復活祭ミサ
22日	正平協一周年記念総会
23日	男子カトリック管区長協議会
27日	スペルマン理事会
5月3日	千鹿教会25周年記念
4日	聖ウルスラ管区協議会
5日	養護施設小百合園30周年記念
11~15日	新園舎落成式
	日本女子修道会総長・管区長会議
16日	社会福祉法人理事会
20日	三沢基地堅信
27日	男女修道会合同役員会
28日	教区司祭団月例会



### 仙台教区現勢統計(1978.11~12.31)

#### I. 概況

面積……45,958.58km<sup>2</sup>  
(宮城、青森、岩手、福島)

人口……6,963,710人

	1978年	前年度
信者総数	11,260	11,136
居所不明	1,092	1,094
求道者	309	311
小教区教会	57	57
分教会 (司祭定住)	1	1
巡回教会	8	10
布教所	10	14
男子修道院	1	1
女子修道院	29	30

#### II. 人員構成

	邦人	外人	計	前年度
司教	2		2	2
司祭	31	54	85	84
修道士	3	3	6	7
修道女	284	51	335	347
伝道士	26		26	24
在俗修道者	5		5	5

#### 2. 教育事業

	数	生徒数	前年度生徒数
短期大学	3	1,148	1,155
専修学校	1	76	76
高等学校	8	5,818	5,870
中学校	7	1,214	1,254
小学校	8	1,863	2,092
幼稚園	55	9,748	10,034

#### III. 事業

##### 1. 社会事業

	数	人数	前年度人数
病院	1	ベット数 85	ベット数 85
診療所	1	年間診察数 9,949	年間診察数 10,098
老人ホーム	4	248	260
精薄者施設	1	49	37
養護施設	6	449	453
保育園	8	585	589
学生寮	1	190	160

	信徒	未受洗者	計	前年度数
教会学校 児童	517	1,166	1,683	1,662
子どもの 要理研究	477	466	943	780

※ 信者総数とは、信者実数+聖職者数。

居所不明者を加えると名簿上の信徒総数となる。

IV. 秘跡・移動

		1978年度	前年度数
洗 礼	成人	117	120
	幼児	91	108
	臨終	31	29
堅信		183	201
病者の塗油		70	66

		1978年度	前年度数
結 婚	信者同士	9	10
	非カトリック 者と	1	1
	非キリスト 者と	62	77
転入 (教区外より)		180	132
転出 (地区外へ)		206	223
死亡		52	76

人事異動

仙台司教区では、昭和54年4月1日付、左記のような人事異動が発令された。

記

小林有方司教

解任 米川教会主任兼付属保育園長

高橋 昌師(千厩主任兼付属幼稚園長)

新任 米川主任兼付属保育園長

佐藤守也師(一閑担任)

新任 千厩主任兼付属幼稚園長

今野東志男師

兼任 角田教会補佐

笹気直哉師(元寺小路第二担任)

新任 司教秘書(司教館付)

尚同時に、左の役職の任命も行われた。

深沢豊治師

司教座聖堂改築推進委員会委員長

安井光雄師

地区法廷構成員

笹気直哉師

法制委員会書記、司教評議会書記

青少年司牧委員会仙台教区担当者

正義と平和委員会仙台教区担当者

※小林有方司教は、現役をしりぞいて、米川小教区ます淵に隠居所を設け、引退することになった。

新住所

〒987-09 宮城県東和町米川字城の内80  
(電話 〇二二〇四一五一二五二一八)

将監開拓拠点

『鶴ヶ谷』に移転

仙台市北方開拓を目指して、将監団地に家屋を借用、そこを拠点として村首師が宣教司牧に従事していたが、家屋の借用期限満了に伴い、拠点を鶴ヶ谷団地に移すこととなった。将監布教所は閉鎖されるが、鶴ヶ谷を拠点として従来の司牧宣教は続行される。新住所は左記の通り。

〒九八三

宮城県仙台市鶴ヶ谷四丁目16-7

(電話 〇二二二一五一六二五九)

△閉鎖▽

「黙想の家」―大湊―

昨年の夏、旧被昇天会大湊修道院を借りうけ、大湊小教区が黙想の家を開いたが、諸般の事情から3月31日付をもって閉鎖することとなった。

シーズンを過ぎてからの開設であったにもかかわらず少なからざる利用者があり、主任司祭横島健二師はこの方々へ感謝を示すと共に、ある程度の目的が達せられたことを喜んでる。



## 刷新された

## 「ゆるしの秘跡」

(1)

すでに各教会で「ゆるしの秘跡」についての指導が行われていると思うが、先般新潟の伊藤司教様が教区民への教書で、この秘跡について触れているので、その抜粋を紹介したい。

※ ※ ※

「典礼の刷新が行われた時、聖体祭儀だけでなく「告解の秘跡」も、「ゆるしの秘跡」と名称が変わって新しくされました。わが国の教会では、今年の聖霊降臨祭（6月3日）から、この新しい「ゆるしの秘跡」が実施されることになりました。：

まず名称から説明致しましょう。ご承知のように、この秘跡は、罪への反省から始まって、悔い改めの心をおこし、告白し、償いが命じられ、罪の許しが与えられるのですが、この中で一番大切なことは、悔い改め（回心）と赦免です。：

刷新された典礼においては、告白

をするという人間の行為よりも、神の恵み、神の働きかけ、ゆるしを第一にして「ゆるしの秘跡」としたのです。次に、今までラテン語で罪の赦しが与えられていましたので私たちにその内容がわからなかったのですが、それが日本語になり、司祭の与える赦しがだれにもわかるようになりしました。それは、

「全能の神、あわれみ深い父は、御子キリストの死と復活によって世をご自分に立ち帰らせ、

罪のゆるしのため聖霊を注がれました。

神が教会の奉仕の務めを通して

あなたにゆるしと平和を

与えてくださいますように、

わたしは父と子と聖霊のみ名に

よって、あなたの罪をゆるします」

という言葉になりました。この言葉は、赦しが神の働きであることを明らかにしています。：司祭は、自分の力で罪をゆるすのではなく、赦すという神の働きが、教会共同体を通じて、さらに司祭の奉仕職を通じて行われることがよく表現されています。次に、これまで罪は個人のみを

傷つけるもののように考えられ、個別的な告解が行われてきました。が、今度の刷新によって、罪の共同体性というものが強調されています。聖パウロは、コリント人への手紙で、「一つの肢体が苦しめば、すべての肢体が苦しめ、一つの肢体が尊まれれば、すべての肢体がともに喜ぶ」と言っています。が、キリストの神秘体といわれる教会には、他から完全に独立した自分というものはありません。自分が罪を犯せば、他をも傷つけるのです。神に赦しを願うと同時に、教会という共同体からも赦しを願い、これと和解しなければなりません。これを表現するために共同回心式という形式が導入されています。：

完全な痛悔を除いて、「ゆるしの秘跡」は、洗礼後に犯された罪を赦す唯一の手段です。たとえ大罪に陥っても失望することなく、神のあわれみに信頼し、神と教会に立ちかえるために、この秘跡を受け、回心するようにならねばなりません。」（続く）



宗教教育指導者研修会

青森・本町教会で!

青森県下9教会、22名の宗教教育担当者(司祭7、修道女々、信徒//)が集まり、復活祭に向かつての教会学校、及び信徒一般の準備のあり方について話し合い、実りある集会を

\*\*\*\*\*  
会員募集

カトリック正義と平和

仙台協議会

カトリック正義と平和仙台協議会では、このたび、広く社会正義について関心を持っている方を募集しております。この協議会は、前ローマ法王パウロ六世によって提唱され、教皇庁正義と平和委員会が発足され、各国に正義と平和委員会があります。当協議会は独自の活動を目ざして、地道ながら活動を行っており、現在、フィリピンの人権問題などに取り組んでおり、更に充実した活動を行うために、皆様の御加入を希望しています。詳細は左記へ。

\*元寺小路教会内 正義と平和仙台協議会

電話 ○二二二二二七二九四三

又は二七七一六二六、叶まで。

持った。

「これまで復活祭の準備は、春休みのスタッフの忙しさ等からおろそかにされがちであったが、信仰教育は復活の信仰に向けられることが大切である。四旬節だけでなく、あらゆる機会、秘跡において、この方向づけがなされなければならない」ということが参加者全員から出された。四旬節中の具体的方法として、次のような案が出された。

◎両親との協力のもとに、生活の中で具体的な犠牲を通して準備の心を起こさせる。

◎子供達に十字架の道行きの祈りや、絵、版画などを描かせる。

◎植物の種を蒔き、復活祭まで世話をし、その成長を喜び合う。

◎子供だけの一泊の黙想会をする。

ドキュメンタリー

インドの星 マザー・テレサと

その世界 ついに完成!!

上映予定

● 4月28日 仙台聖ドミニコ学院

● 6月6日 盛岡県民ホール(カト・センター主催)

● 6月22日 青森市民会館(青森キリスト教連協議会主催)

あなたも

聴いてみませんか!

フィリピンにあるカトリック放送局ラジオヴェリタスは、日本向けに、毎日朝夕一回ずつ日本語の番組を送っているが、一九七六年の放送開始以来、全国の海外短波放送受信者の中で大きな話題となっている。

今年2月中にラジオヴェリタスの日本語課に寄せられた日本からのレポートは、四九八通にも上っている。日本向け放送時間と周波数は次の通りである。

放送時間 毎日 午前10時~10時25分と、午後9時30分~9時55分

周波数

午前 15.135メガヘルツ(19mb)

午後 11.945メガヘルツ(25mb)

お知らせ

○ 教区事務所です献身的に働いてくださった鈴木加代子さんが、結婚のため、4月14日をもって退職されました。

○ 4月から広報等を担当するため、シスター小川敦子(聖ウルスラ会)が週2日教区事務所に勤務します。どうぞよろしく!

仙台司教区事務所だより第20号

昭和五十四年五月一日発行

発行所 仙台司教区事務所

〒980 仙台市本町一丁目2番12号 TEL 0222 22 7371